

## 1、動機

ディズニーリゾートラインでキャスト（駅係員）としてアルバイトをしている。その中で「ディズニーテーマパーク内の移動」というものに興味を持った。これから東京ディズニーリゾートが顧客として取り入れていく言葉に「3世代ディズニー」という言葉がある。ご高齢の方にも「楽しみやすい・動きやすいテーマパーク作り」をするべきではないかと考えたためである。それから移動手段としてパーク内をスムーズな移動で快適な空間として過ごせるという利点も生まれてくる。それに加えて「ディズニーのショーアップ」につながると考える。

## 2、これまでの成果

### ● 今現在の段階で移動手段がない理由

仮説：テーマ性が損なわれてしまうためではないか。

理由：他のテーマランドで走っているライド（乗り物）が別のテーマランドへと移動してくるとテーマ性が損なわれてしまう。

### ● 実際にある移動手段の主な事例

#### ①カリフォルニア州・アナハイム「ディズニーランド・リゾート」

『ディズニーランド』

「ディズニーランド鉄道」がある。

#### ②フロリダ州・オーランド「ウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート」

『マジックキングダム』

「ウォルト・ディズニー・ワールド鉄道」がある。

#### ③東京ディズニーリゾート

『東京ディズニーシー』

「ディズニーシー・エレクトリックレールウェイ」、「ディズニーシー・トランジットスチーマーライン」、「ビックシティ・ビークル」がある。

## 3、ウォルトの人生と鉄道

上記のように、アメリカのディズニーテーマパークは蒸気機関車を他のテーマエリアへと移動をさせている。これではテーマ性が崩れてしまうのではないだろうか。しかし、それには創設者ウォルト・ディズニーの人生が深く関わっている。

## 4、ウエスタンリバー鉄道と日本の法律

海外の「ディズニーランド鉄道」にあたるものとして、日本には東京ディズニーランドに「ウエスタンリバー鉄道」がある。しかし、海外の「ディズニーランド鉄道」と大きく違う点がある。それは「途中駅が無いこと」である。それには日本の法律が関係している。

## 5、東京ディズニーランドと東京ディズニーシー

この2つの大きな違いは「海があるか、ないか」の違いではないだろうか。パーク内の移動に配慮したアトラクションではないかと考えられる。

## 6、移動手段として目指すべきところ

『3世代ディズニーの促進』『快適な移動』『ショーアップ』という3点をクリアし、以下を提言する。

### ① ウエスタンリバー鉄道

法律が改正されているのだからもう1駅設置する。

### ② オムニバス

各テーマランドに繋がるようなバス停を設置する。